

製品名: CFHR5 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM81650**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ICC,ELISA,FC
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG2a
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	64.4kDa

抗原情報

遺伝子名	CFHR5
別名	FHR5; CFHL5; FHR-5; CFHR5D
遺伝子 ID	81494.0
SwissProt ID	Q9BXR6
免疫原	大腸菌で発現したヒト CFHR5 (AA: 344-569) の精製された組み換え断片。

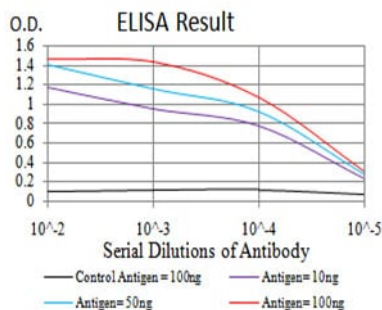
背景

この遺伝子は、染色体 1 上の小さな補体因子 H (CFH) 遺伝子クラスターのメンバーです。この遺伝子ファミリーの各メンバーには、補体活性化の制御因子に典型的な複数の短いコンセンサス リピート (SCR) が含まれています。この遺伝子によってコードされるタン

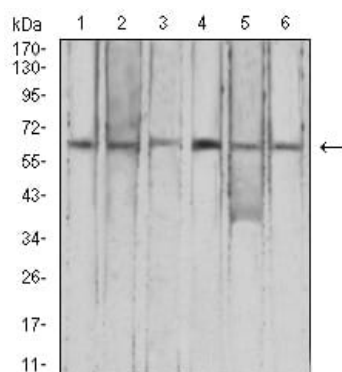
パク質には9つのSCRがあり、最初の2つのリピートはヘパリン結合特性を持ち、リピート5~7内の領域はヘパリン結合およびC反応性タンパク質結合特性を持ち、C末端リピートは補体成分3b (C3b) 結合ドメインに類似しています。このタンパク質はC3と共有し、用量依存的にC3bに結合し、C反応性タンパク質によって損傷を受けた組織にリクルートされます。この遺伝子の対立遺伝子変異は、膜性増殖性糸球体腎炎II型 (MPGNII) および溶血性尿毒症症候群 (HUS) という2つの異なる形態の腎臓病と関連付けられていますが、因果関係は確立されていません。

研究分野

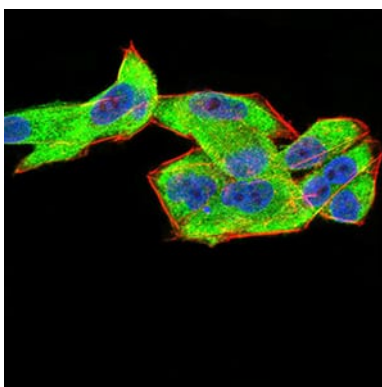
画像データ



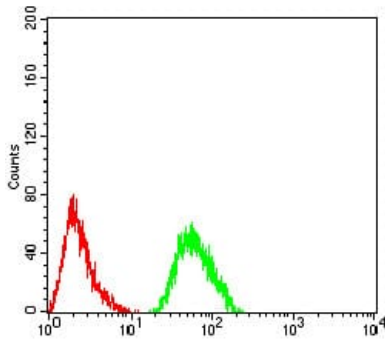
黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



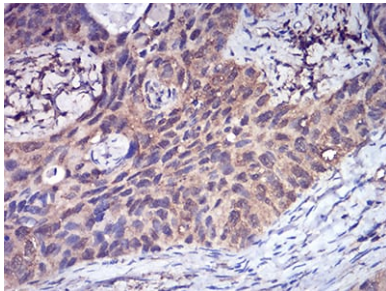
HepG2 (1)、K562 (2)、L-02 (3)、SK-Hep-1 (4)、SMMC-7721 (5)、および NIH/3T3 (6) 細胞溶解物に対する CFHR5 マウス mAb を用いたウエスタンブロット解析。



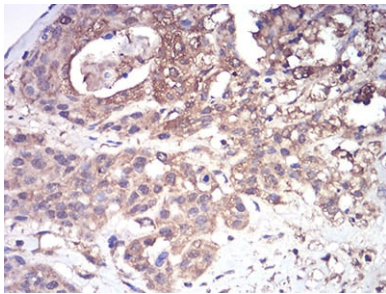
CFHR5 マウス mAb (緑) を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



CFHR5 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した HeLa 細胞のフローサイトメトリー分析。



CFHR5 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト子宮頸癌組織の免疫組織化学分析。



CFHR5 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト卵巣癌組織の免疫組織化学分析。